

公益財団法人 仁科記念財団
平成 26 年度 事業報告書

仁科記念財団の公益目的事業は、定款第 4 条に掲げられている通り、広い意味の原子物理学およびその応用に関する研究において（1）きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与（2）著名な研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催（3）歴史的に貴重な資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営（4）知識および思想を普及啓発するための出版物刊行などの活動（5）優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成である。

平成 26 年度は、以下の公益目的事業を行った。

1. 仁科記念賞

仁科記念賞は、広い意味での原子物理学およびその応用に関して顕著な業績をあげた比較的若い研究者に授けられる賞で、当財団創設の 1955 年以来、毎年数名の将来性豊かな研究者に授与されてきた。これまでの受賞者の総数は 178 名となり、その中からは、ノーベル物理学賞受賞者 5 名、文化勲章受章者・文化功労者 18 名、恩賜賞・日本学士院賞受賞者 30 名をはじめ、国内外で著名な賞に輝いた受賞者が多く、研究者社会において仁科記念賞の価値と名誉は広く認められている。

仁科記念賞規程では、① 6 月 1 日から 8 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団ホームページ、日本物理学会誌、日本化学会誌等に、仁科記念賞候補者募集要項を公表するとともに、広く学識者からの推薦を公募し ② 授賞件数は 3 件以内 ③ 選考は選考委員会で行い受賞者には、賞状、賞牌と 1 件当たり 500 千円の副賞を授ける ④ 選考結果は理事会の承認を得た後すみやかに新聞紙上等に公表 ⑤ 授賞式は仁科芳雄博士の誕生日の 12 月 6 日に、これまでの受賞者、選考委員、運営諮問委員、助言委員、顧問、評議員、役員の参加する研究交流の場で行うこととしている。

平成 26 年度第 60 回仁科記念賞もこの規程の通り選考が行われた。今年度は 19 件の推薦があり、選考委員会（藤川和男委員長他 13 名）において各候補者について慎重に審議した結果、次の 2 件に授与することとした。この結果は平成 26 年 10 月 29 日に開催された第 11 回理事会において承認され、11 月 11 日に日本アイソトープ協会会議室において新聞発表を行った。授賞式は仁科芳雄博士の誕生日前日、平成 26 年 12 月 5 日（金）に東京會館にて執り行われた。

- ・受賞者：松田祐司（京都大学大学院理学研究科教授）
業績題目：重い電子の 2 次元閉じこめによる新しい電子状態の創出
- ・受賞者：小林 隆（高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所教授）
中家 剛（京都大学大学院理学研究科教授）
業績題目：ミュオンニュートリノビームからの電子ニュートリノ出現事象の発見

本年度の補正予算で、仁科記念賞賞牌の在庫を補充した。

2. 仁科記念講演会・仁科記念談話会

仁科記念講演会は当財団創立以来の重要な事業で、社会に原子物理学の真髓を啓発するため、毎年一般の参加を得て開催されてきている。

今年度は、以下のように第 60 回定例仁科記念講演会が開催された。

「第 60 回定例仁科記念講演会」

日 時：平成 26 年 11 月 20 日（木）17:00 ～ 19:00

場 所：名古屋大学理学部南館坂田・平田ホール

主 催：仁科記念財団、名古屋大学理学研究科、
名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構

後 援：日本アイソトープ協会

（プログラム）

挨 拶：小林誠 仁科記念財団理事長

益川敏英 名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構長

篠原久典 名古屋大学理学研究科長

講 師：高橋義朗 京都大学教授

題 目：「冷却原子を用いた量子シミュレーション」

講 師：三田一郎 名古屋大学名誉教授

題 目：「クォーク物理学の展開」

参加者：約 120 名

講演録が NKZ シリーズとして刊行される予定。

仁科記念談話会は、定例の仁科記念講演会、仁科記念シンポジウムに加えて、随時開催するもので、今年度は以下の談話会を開催した。

「ボーア先生の 8 ミリ映画」

日 時：平成 26 年 10 月 24 日（17:00～19:00）

場 所：理研（和光）R I B F 棟 2 階大会議室

主 催：仁科記念財団、理研仁科センター、
理研理論科学連携研究推進グループ

（プログラム）

講 師：長島要一 コペンハーゲン大学特任教授

題 目：「ニールス・ボーアは日本で何を見たか - 写真と 8 mm カラー映画」

講 師：江沢洋 学習院大学名誉教授

題 目：「ボーアの研究所の仁科芳雄」

参加者：約 80 名

3. 仁科記念室

(1) 資料の提供

- ・平成 26 年 7 月 5 日 23:00~24:30 NHK・E テレにて放映された「戦後史証言プロジェクト／日本人は何を目指してきたのか～知の巨人たち～」第 1 回「湯川秀樹と物理学者たち」に仁科芳雄博士の写真を提供した。
- ・平成 26 年 8 月 1 日発行の普遊舎ムック「太平洋戦争の新事実」に仁科先生に関わる「原子爆弾の真実」が掲載された。仁科大サイクロトロン写真ほか資料のコピーを提供した。
- ・平成 26 年 7 月 25 日発行の花伝社「国策通信社『同盟』の興亡」（鳥居英晴著）に当財団所蔵の「敵性情報」（昭和 20 年 8 月 7 日米大統領トルーマン発表の「原子爆弾」を同盟通信社内情報局川越分室が傍受・翻訳して仁科芳雄博士に届けた原資料）を提供した。

(2) 見学者

- ・団体の見学：岡山県里庄町中学生（9 名）他
日時：平成 26 年 7 月 31 日 午後 1 時～3 時
見学会名：「仁科芳雄博士の足跡を訪ねて」
主催者：里庄中学校、科学振興仁科財団、里庄町
目的：仁科博士の出身地の岡山県里庄町で選抜された中学生を対象にした「仁科博士の足跡をたどる国内・海外研修の旅」の一環
- ・団体の見学：平成 26 年 4 月 4 日、駒込六義園周辺住民で結成する大和郷会の仁科記念室見学会が開催された。文京区議会運営委員長山本一仁氏他約 40 名の参加があった。
- ・個人の見学：団体見学を含め約 80 名の見学があった。

(3) 資料の整理

- ・本年度の補正予算で、仁科記念室の書架にある仁科芳雄博士所蔵の書籍の保存状態改善工事を施工し、同時に図書目録を作成した。

4. 研究関連等の出版

- ・NKZ No.55 第 1 回仁科記念シンポジウム「アイソトープ科学の最前線」講演録核物理から核医学まで：中根良平、矢野安重、米倉義晴（2015 年 1 月）を刊行した。
- ・2014 年度版仁科記念財団案内（2014 年 6 月）を刊行した。
- ・本年度の補正予算で、来年度財団創立 60 周年を記念して贈呈する仁科芳雄往復書簡集等の在庫を確保した。

5. 研究者の海外派遣・招聘

本財団は、若手研究者の海外派遣・招聘事業に替わる新たな支援事業として、平成 24

年度にアジアの若手研究者を鼓舞激励する Nishina Asia Award を創設した。

Nishina Asia Award は、アジアに研究基盤をおいて極めて優れた成果を挙げた日本以外のアジアの若手研究者（学位取得後 15 年以内）を毎年 1 名選考して、賞状と賞牌および賞金 400 千円を仁科記念賞授賞式の中で授与し、さらに授賞式の前後約 2 週間、わが国研究者との研究交流を助成するという事業で、これを研究者の海外派遣・招聘事業予算で実施する。選考は Nishina Asia Award 規程に則り当該選考委員会（江口 徹委員長他 11 名）で行い、選考結果は理事長の承認を得て 9 月初旬には受賞者に通知される。

第 2 回となる 2014 年 Nishina Asia Award の候補者募集要項を平成 26 年 1 月 1 日から 3 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団ホームページに掲示するとともに、広く世界の学識者からの推薦を公募した結果、5 件（中国 2 件、韓国 2 件、台湾 1 件）の応募があった。選考委員会で、これらの候補者に前回有力と認められた候補者 2 名（中国 1 名、韓国 1 名）を加えて選考した結果、「単層および 2 層グラフェンの電子的性質の解明への特筆すべき貢献」”Outstanding contributions to the elucidation of electronic properties of monolayer and bilayer graphene” の業績で、中国籍の張遠波 Yuanbo Zhang 教授（Department of Physics, Fudan University, China）に授与することに決定した。授賞は、本財団ホームページ、Association of Asia Pacific Physical Societies (AAPPS) の Bulletin に公開された。Y. Zhang 教授は 12 月 5 日に仁科記念賞・仁科アジア賞授賞式（東京會館）に出席した後、物材機構、東工大、理研、東北大でセミナー、京都で国際会議の招待講演を行った。

第 3 回 2015 年 Nishina Asia Award は、平成 27 年 1 月 1 日から 3 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団ホームページに候補者募集要項を掲示するとともに、広く世界の学識者からの推薦を公募した結果、14 件（中国 7 件、韓国 3 件、シンガポール 1 名、マレーシア 1 名、パキスタン 1 名、台湾 1 件）の応募があった。

6. 賛助会員

平成 26 年度の賛助会員数は 10 法人、2 個人。

7. 会議の開催

平成 26 年度に開催した評議員会、理事会、選考委員会、運営会議・運営諮問委員会の開催日時、出席者、議事は以下の通り。開催場所はすべて日本アイソトープ協会会議室。

(1) 評議員会

1) 第 4 回（定時）

日時：平成 26 年 6 月 10 日 17:00～19:00

出席評議員：有本建男、川路紳治、郷通子、佐藤勝彦、鈴木厚人、高橋真理子、
伊達宗行、中原恒雄、西村純、廣田榮治、宮沢弘成、山崎敏光、
吉田庄一郎評議員

出席監事：荒船次郎、池田長生監事

出席理事：小林誠理事長、矢野安重常務理事

議事：①平成 26 年度事業報告書および決算書が原案通り承認された。

(2) 理事会

1) 第 10 回

日時：平成 26 年 5 月 28 日 17:00~18:00

出席理事：秋光純、家泰弘、江澤洋、小林誠、鈴木増雄、田畑米穂、永宮正治、
仁科雄一郎、矢野安重、山田作衛、全理事

出席監事：荒船次郎、池田長生監事

議事：①平成 25 年度事業報告書および決算書（案）が承認され、第 4 回定時評議員会に諮ることとした②第 4 回定時評議員会を平成 26 年 6 月 10 日 17:00 より日本アイソトープ協会第 3 会議室にて開催することとした。

2) 第 11 回

日時：平成 26 年 10 月 29 日 17:00~18:00

出席理事：秋光純、家泰弘、江澤洋、小林誠、鈴木増雄、永宮正治、矢野安重、
山田作衛理事

欠席理事：田畑米穂、仁科雄一郎理事

出席監事：荒船次郎、池田長生監事

出席選考委員：藤川和男委員長

議事：①平成 26 年度仁科記念賞受賞者は選考委員会提案の通りとすることを決定した。

3) 第 12 回

日時：平成 26 年 12 月 17 日 17:00~17:30

出席理事：秋光純、家泰弘、江澤洋、小林誠、鈴木増雄、田畑米穂、永宮正治、
矢野安重、山田作衛理事

欠席理事：仁科雄一郎理事

出席監事：荒船次郎、池田長生監事

議事：①平成 26 年度予算のうち仁科記念賞顕彰費、仁科記念室運営費、研究関連出版物刊行費について、それぞれ本年度内に「仁科記念賞賞牌の在庫の補充」「仁科記念文庫の保管状態の改善」「財団創立 60 周年記念贈呈用の仁科芳雄往復書簡集等の在庫の確保」を行うための補正予算が承認された②当該補正予算執行のために特定資産を 800 万円取り崩すことが承認された。

4) 第 13 回

日時：平成 27 年 3 月 17 日 17:00~18:30

出席理事：秋光純、家泰弘、江澤洋、小林誠、鈴木増雄、永宮正治、仁科雄一郎、
矢野安重、山田作衛理事

欠席理事：田畑米穂理事

出席監事：荒船次郎、池田長生監事

議事：①平成 27 年度事業計画書および収支予算書を承認した②特定資産を 300 万

円取り崩すことを承認した③平成 27 年 3 月 31 日で任期満了となるすべての仁科アジア賞選考委員を重任とし、委員長を継続して江口徹氏にお願いすることが承認された。尚、任期は、平成 27 年 4 月 1 日より平成 29 年 3 月 31 日までとする。

(3) 仁科記念賞選考委員会

1) 第 1 回

日時：平成 26 年 9 月 30 日 17:00~21:00

出席委員：藤川和男委員長、選考委員

出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重理事

3) 第 2 回

日時：平成 26 年 10 月 22 日 17:00~21:00

出席委員：藤川和男委員長、選考委員

出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重理事

議題；①平成 26 年度仁科記念賞受賞者の選考委員会案を決定した。

(4) Nishina Asia Award 選考委員会

2) 第 1 回

日時：平成 26 年 5 月 26 日 18:00~20:00

出席委員：江口徹委員長、選考委員

出席理事：小林誠、鈴木増雄理事

3) 第 2 回

日時：平成 26 年 7 月 7 日 18:00~20:00

出席委員：江口徹委員長、選考委員

出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重理事

議題；①第 2 回 2014 Nishina Asia Award 受賞者の選考委員会案を決定した。

(5) 運営会議・運営諮問委員会

1) 第 1 回

日時：平成 26 年 4 月 23 日 17:30~19:30

出席委員：梶田隆章委員長、安藤恒也、伊藤公孝、江口徹、仁科浩二郎、早野龍五
委員

出席理事：小林誠、矢野安重、秋光純、家泰弘、江澤洋、田畑米穂、永宮正治理事

出席監事：荒船次郎、池田長生監事

議題：①第 4 回評議員会に諮る平成 26 年度事業報告および決算書の理事長案について②平成 26 年度定例仁科記念講演会の開催企画について

2) 第 2 回

日時：平成 26 年 5 月 28 日 18:00~19:30

出席委員：梶田隆章委員長、伊藤公孝、須藤靖、仁科浩二郎、藤川和男委員

出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛、秋光純、家泰弘、江澤洋、

田畑米穂、永宮正治、仁科雄一郎理事

出席監事：荒船次郎、池田長生監事

議題：①平成 26 年度定例仁科記念講演会の開催企画について

3) 第 3 回

日時：平成 26 年 6 月 24 日 17:30~19:30

出席委員：梶田隆章委員長、須藤靖、十倉好紀、仁科浩二郎、早野龍五委員

出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛、秋光純、家泰弘、江澤洋理事

出席監事：荒船次郎、池田長生監事

議題：①第 60 回定例仁科記念講演会を 11 月 26 日夕方、名古屋大学にて開催、
講師は、三田一郎氏と高橋義朗氏②外国の優れた研究者の招聘について

4) 第 4 回

日時：平成 26 年 7 月 23 日 17:00~18:00

出席委員：梶田隆章委員長、安藤恒也、江口徹、須藤靖、仁科浩二郎、
早野龍五委員

出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛、秋光純、田畑米穂、永宮正治、
仁科雄一郎理事

出席監事：荒船次郎、池田長生監事

議題：①外国の優れた研究者の招聘について

5) 第 5 回

日時：平成 26 年 9 月 16 日 17:30~19:30

出席委員：安藤恒也、須藤靖、十倉好紀委員

出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重、秋光純、江澤洋、永宮正治理事

出席監事：荒船次郎、池田長生監事

オブザーバー：山崎敏光評議員会長

議題：①Y. Zhang 氏の授賞式と受賞講演の日程について②NAA 授賞候補者の発
掘促進の方法について③コペンハーゲン大学長島要一教授の「N. Bohr の
来日ビデオ」の講演日程について④「仁科芳雄博士記念館構想」について

6) 第 6 回

日時：平成 26 年 10 月 29 日 18:00~19:30

出席委員：梶田隆章委員長、安藤恒也、伊藤公孝、江口徹、十倉好紀、仁科浩二郎、
藤川和男委員

出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛、秋光純、家泰弘、江澤洋、
永宮正治理事

出席監事：荒船次郎、池田長生監事

オブザーバー：山崎敏光評議員会長

議題：①NAA 授賞候補者の発掘促進の方法について

7) 第 7 回

日時：平成 26 年 12 月 17 日 17：30～18：00

出席委員：梶田隆章委員長、安藤恒也、伊藤公孝、江口徹、仁科浩二郎、早野龍五、
藤川和男委員

出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛、秋光純、家泰弘、江澤洋、
田畑米穂、永宮正治理事

出席監事：荒船次郎、池田長生監事

オブザーバー：山崎敏光評議員会長、西村純評議員

議題：①NAA 授賞候補者の発掘促進については、江口委員長に NAA 候補者推薦者の追加をお願いすることとした。

8) 第 8 回

日時：平成 27 年 1 月 21 日 17：30～18：00

出席委員：梶田隆章委員長、伊藤公孝、須藤靖、十倉好紀、仁科浩二郎、早野龍五、
藤川和男委員

出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重、家泰弘、田畑米穂、永宮正治理事

出席監事：荒船次郎、池田長生監事

議題：①仁科記念賞授賞理由書の作成について

9) 第 9 回

日時：平成 27 年 2 月 25 日 17：30～19：30

出席委員：梶田隆章委員長、江口徹、須藤靖、十倉好紀、仁科浩二郎、早野龍五、
藤川和男委員

出席理事：小林誠、鈴木増雄、矢野安重、山田作衛、江澤洋、永宮正治理事

出席監事：荒船次郎、池田長生監事

オブザーバー：山崎敏光評議員会長

議題：①平成 27 年度事業計画書および収支予算書（案）について②新 NAA 選考委員の理事長案について③2015 年度仁科記念賞授賞理由書発表の段取りについて